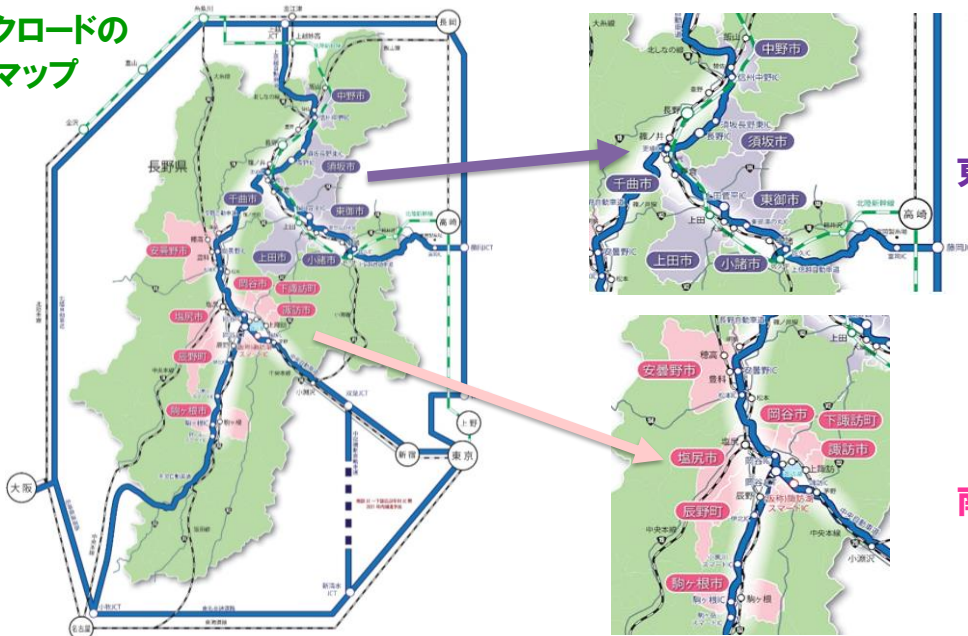


事業の名称	～糸都からはじまる 思い出を紡ぐ旅～ 信州シルク回廊
名称	信州シルクロード連携協議会
プランの骨子	<p>1. 事業立案の背景 現在、長野県内の中央自動車道には、スマートICが2箇所（駒ヶ岳スマートIC、小黒川スマートIC）あり、2023年末供用を目標に、（仮称）諏訪湖スマートICの事業化が決定した。スマートICの開通により、交通結節点機能を有する岡谷市・駒ヶ根市の地理的特性を活かした広域的な誘客促進を図る。また、中部横断自動車道の山梨―静岡間の全線開通が2021年中の見通しとなり、高速道路が通っていない観光地にも旅行者の行動領域（新たな観光ルート）が拡大されることが期待できる。</p> <p>2. 事業の目的 それぞれの地域において育んできたシルク文化を連携して、広域だからこそ提供できる旅行商品『シルクツーリズム』と、その地域でしか体験できない潜在的な観光資源を深掘りした『カルチャーツーリズム』を組み合わせ、『記憶に残る新しい旅行商品』＝『信州シルク回廊』を創り上げる。</p> <p>3. 事業の全体計画</p> <p>①広域周遊型旅行商品の造成 * 養蚕業を支えたシルク関連の地域をいくつかに分けた観光ルート（東北信版、中南信版）の造成。 * 各地域が誇る観光素材や隠れた魅力をリメイクしてシルクツーリズムに組み込んだ着地型旅行商品の造成。</p> <p>②教育旅行商品の造成 * 信州ならではのアクティビティを教育的要素を組み入れながら楽しく体験できるプログラムと、シルクの歴史・文化を体験して学べる教育旅行商品の造成。</p> <p>③ITを運用した旅行商品の開発（広域周遊旅行商品・教育旅行商品共通） * 信州シルク回廊スタンプラリー * 位置情報を活用した観光情報の提供</p> <p>④インバウンド誘客促進事業 * 現地旅行会社とタイアップした、人気YouTuber（インフルエンサー）の旅番組を制作しPRすると共に、旅行商品の販売促進を図る。 * 現地旅行会社を招聘してファミトリップの実施。</p> <p>⑤SDGsとの連携事業 * 広報ツールとして、『信州シルク回廊カード（仮称）』を制作し、信州のシルク産業をPRすると共に社会インフラの意義や目標に位置付けて情報発信する。 * 教育旅行や参加型イベント等のノベルティとして活用する。</p> <p>⑥情報発信推進事業 * SNSを活用した戦略的な情報発信と、効果的にマーケティングを行う。 * 協議会のホームページをリニューアルし、旬な観光情報を提供する。 * 周遊観光を楽しめるパンフレット・マップの制作。 * 外国語パンフレット、ホームページの翻訳機能などによる海外への観光情報発信。</p>

事業活動地域

信州シルクロードの
エリアマップ



東信エリア

南信エリア